

# 塾

ジユク

14画 吉 享 塾 塾 塾 塾

【なりたち】 古い字は塾。熟の本字の孰と、堂の意味の土との会意形声字。昔、門の両側にあって子弟に学問を習熟させるための堂の名称。学習するための建物のこと。



【いみじゆく】 子弟に学問を教えるための個人の家の教室。私塾：個人の家で、子供達に勉強を教える所。学習塾：学校以外で勉強を教える、私設の教室。

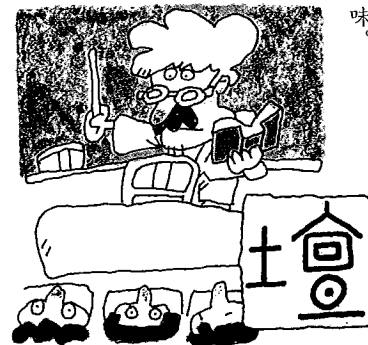
【よみかた】 塾生：塾で学ぶ学生や生徒。塾頭：塾生の監督をする人。塾長。村塾

# 壇

ダン・タン

16画 十 疋 疋 疋 壇 壇 壇

【なりたち】 廩(心)（郊外に設けた米倉）の本字の畝と旦(艹)との形声字の畝と、土との会意形声字。米倉のように高く土を盛り上げて作った。郊外に設けられた祭壇のこと。転じて、高くして平らな所の意味。



【いみじゆく】 土を高く盛り上げて作った祭壇。祭壇：神仏や死者の霊などを祭り、供え物などをささげておく壇。

▼まわりよりも一段高い所。演壇：講演者が立って話をするための一段高い所。教壇：教師が立って勉強を教える一段高い所。花壇：庭や公園などで、一部を区切って草花を植えてある所。仏壇：仏像や位牌(いはい)を祭つてある所。土壇場：これ以上どうしようもないぎりぎりのところ。

▼専門家仲間の社会。文壇：作家や批評家たちの社会。画壇：画家の社会。よみかた 歌壇・俳壇・論壇

# 垣

かき

9画 十 土 疋 疋 垣 垣 垣

【なりたち】 旋回(めぐる)の意味の亘(艹)と、土手の意味の土との会意形声字。建物の周囲に巡らした土手を表した字。かき・かきねのこと。土塙の低いもの。

垣間見る



【いみじゆく】

▼垣。建物の周囲に巡らしたしきり・囲い。垣根：垣。自分の家や庭と、それ以外の土地を隔てる、しきりや囲い。生け垣：常緑樹を植え並べて作った垣根。

石垣：石や岩を積み重ねて作った垣や壁。用例 城の石垣。垣間(かき)見る：垣の間から見るとという意味から、すき間などからちらりと見る。

# 塙

ヘイ

12画 土 疋 疋 疋 塙 塙

【なりたち】 旧字体は塙。本字は庭。後に屏になった。人が家を「守る」ことを表した字。転じて、家を守る外郭を「屏(心)」という。塙は「土屏(心)」の意味で、わが国で作られた会意形声字。塙の高いもの。



【いみじゆく】

▼塙。家や敷地の周囲に巡らした囲い。土塙：土で作った塙。板塙：板で作った塙。

垣塙